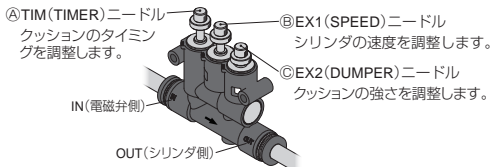
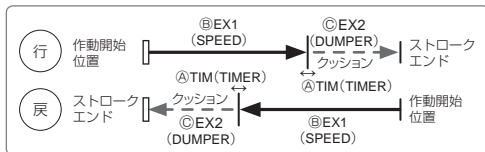
ブレーキ付スピードコントローラ 取扱説明書

本製品はメータアウト制御の調整を行います。また速度制御方法は、複動シリンダの両側に1個ずつ製品を取付けた場合となります。
本取扱説明書をよく読んで理解してから、速度調整を行ってください。

各ニードルの役割と制御内容

⚠速度調整の前にTIM、EX1を全開、EX2を全閉状態にしてください。

	開（反時計廻り）	閉（時計廻り）
ⒶTIM	クッションの開始位置が早くなります	クッションの開始位置が遅くなります
ⒷEX1	シリンダの速度が速くなります	シリンダの速度が遅くなります
ⒸEX2	クッションが弱くなります	クッションが強くなります

速度調整のポイント

- 速度調整後に圧力や配管の長さを変えると、設定に影響が出るため、あらかじめ圧力と配管の長さを決めてから操作してください。
- 速度調整方法①～③は、シリンダ両側の製品に同時に設定し、④～⑥は個別に設定します。
- クッションの開始位置がわからない時は、シリンダスピードを速め(EX1を全開)、クッションを強くする(EX2をほぼ全閉)と、速度に強弱がつきクッションのタイミングがわかりやすくなります。
- クッションの開始位置はストロークエンドに近づけすぎず余裕をもたせてください。
- 設定がわからなくなった場合は、最初からやり直してください。

速度調整方法

①製品を取付けます。製品側面のOUT側にシリンダを取付けます。
②速度調整の前にTIM、EX1を全開、EX2を全閉状態にしてください。
③クッションの強さを決定します。シリンダを駆動させ、EX2を徐々に開き、シリンダがストロークエンドまで到達するように調整し、設定が変わらないようツマミを押さえながらロックナットを締めます。
④クッションのタイミングを決定します。TIMを徐々に閉め、ストロークエンド付近でクッションが効くようにTIMを適宜調整してください。この時、TIMを締めすぎたり、全開状態から一度に締めたりすると、クッションが効かなくなりますので注意してください。
⑤シリンダの速度を下げたい場合は、EX1を調整し、TIMでクッションのタイミングを再調整してください。
⑥最後に微調整を行い、TIMとEX1の設定が変わらないようにツマミを押さえながらロックナットを全て締めます。

注意事項

⚠警告 シリンダの速度を調整する際、速度調整方法を参照して調整してください。正しい手順で操作を行わないと、シリンダが飛び出す危険性があります。

⚠注意 1. 漏れを許容していますので、漏れ量がゼロを必要とする使い方は使用しないでください。
2. クッション時にシリンダ内のエアが残っている間は背圧が掛かるため、シリンダ推力が低下しますので、ご注意ください。
3. シリンダ周辺のエア漏れが速度設定に影響を及ぼす可能性があります。
4. 操作中、排気ポートを塞がないようにご注意ください。